

生体の科学 第25巻 総目次

1974年(第1号~第6号)

〔特集 生体の科学 展望と夢〕

〈座談会〉 生体の科学の将来を語る

……………名取 礼二・江橋 節郎
上代 淑人・浜 清
伊藤 正男…………… 2(1)

伝達物質放出の調節……………古河 太郎… 21(1)

消化管の内分泌系——その機構

と本態を探る……………藤田 恒夫… 35(1)

神経系と情報処理……………西尾英之助… 46(1)

免疫学への夢……………山本 正… 52(1)

神経科学の展望と夢……………勝木 保次… 239(3)

〔特集 筋細胞の分化〕

筋分化に伴う筋蛋白の変化……………真崎 知生… 93(2)

筋細胞膜の発生と分化

……………高橋国太郎・吉井 光信・岡本 治正… 105(2)

筋分化の形態学的分析……………石川 春律… 120(2)

〔特集 脳の高次機能へのアプローチ〕

大脳における視覚情報処理……………外山 敬介… 185(3)

前頭葉機能の研究の神経生理学

的アプローチ……………久保田 競… 196(3)

数理工学からみた脳の高次機能

……………南雲 仁一… 209(3)

〔特集 伝達物質と受容物質〕

シナプスと cyclic AMP……………宮本 英七… 265(4)

伝達物質の神経細胞膜に対する

作用……………額額 教三… 277(4)

シナプス小胞と神経終末細胞質

……………門田 健・門田 朋子… 286(4)

アセチルコリン受容体に関する

最近の研究……………大塚正徳・小西 史朗… 306(4)

〔特集 生体膜—その基本的課題〕

膜モデル……………藤田 道也…369(5・6)

生体膜の多様性と共通性—生体

膜の形態学的分化……………山田 英智…378(5・6)

生体膜の流動性の生理的意義と

そのコントロール

—膜融合と関連して……………浅野 朗…390(5・6)

生体膜の動態—タンパク質の代

謝回転……………大村 恒雄…402(5・6)

〔解 説〕

Neurophysiological Genetics

……………池田 和夫… 144(2)

ムコ多糖と核—細胞質間相互作用

……………木下清一郎… 153(2)

パーセプトロンの理論……………上坂 吉則… 222(3)

タバコモザイクウイルスの形態

形成……………岡田 吉美… 230(3)

ミトコンドリアのリボソームと

タンパク合成系……………栗山 義明… 314(4)

磁性メモリ……………対馬 国郎… 327(4)

膜脂質の存在状態……………井上 圭三…409(5・6)

生体膜の自己構築性……………香川 靖雄…427(5・6)

超薄切片法における脱水剤およ

び包埋剤としての合成樹脂に

ついて……………串田 弘…436(5・6)

〔実験講座〕

顕微鏡ホログラフィ……………吉岡 亨・竹中 敏文… 164(2)

エネルギー分散型X線マイクロ

アナライザーの使用法……………五十嵐至朗… 170(2)

プロシオンイエローを用いた細

胞内染色法……………金子 章道… 244(3)

サルノの行動に関する心理学的実

験法……………室伏 靖子… 251(3)

新しい落射蛍光顕微鏡

……………植竹敏文・米窪 健… 334(4)

デジタル顕微鏡……………平田 幸男… 346(4)

生体膜の動態—脂質の代謝回転

-和久 敬蔵...447(5・6)
 カニの平衡感覚線維のコバル
 ト染色と平衡胞の灌流刺激.....岡島 昭...455(5・6)

〔講義〕

- 小脳の入力と出力の通信を連結
 する系.....John C. Eccles... 58(1)
 筋発生および赤血球発生におけ
 る DNA 依存について
Howard Holtzer... 134(2)

- 運動神経細胞の性質は支配筋肉
 と無関係か?.....久野 宗...464(5・6)

〔話題〕

- 第9回国際生化学会見聞記.....和久 敬蔵... 84(1)
 第46回日本生化学会大会から.....藤田 道也... 88(1)
 第8回国際脳波・臨床神経生理
 学会に出席して.....本間三郎・渡部 士郎... 174(2)
 ゴルジ100年祭シンポジウム.....前川 杏二... 178(2)
 第16回日本神経化学会.....高垣玄吉郎... 256(3)
 デトロイトの研究生活.....岩田 宜芳... 259(3)
 François Chapeville のプロフ
 ィル.....真野 嘉長... 261(3)
 ロックフェラー大学における研
 究態勢.....浅沼 広... 363(4)
 CIBA シンポジウム「スターリ
 ングの心臓法則の生理学的基
 礎」に出席して.....松原 一郎... 366(4)

- Chapel Hill にて.....宮田 雄平...474(5・6)
 医者としての Nicolaus Copernicus
Witold J. Rudowski...477(5・6)

- 心筋の voltage clamp 法に関
 するシンポジウム.....大地 陸男...486(5・6)
 第8回 国際顕微鏡会議.....永野 俊雄...489(5・6)
 NIH での研究生活と印象.....福田 潤...492(5・6)

〔書評〕

- 免疫生物学.....田村 昇... 57(1)
 Chronobiology.....伊藤 真次... 87(1)
 洞房結節の生理.....鈴木 泰三... 133(2)
 核と細胞質の遺伝.....若林 一彦... 152(2)
 発生と分化.....真野 嘉長... 221(3)
 Biochemistry and Pathology
 of Connective Tissue.....天児 民和... 229(3)
 光学・電子顕微鏡による細胞と
 組織 II.....太田 邦夫... 243(3)
 遺伝情報.....大野 哮司...401(5・6)
 Acetylcholine.....高柳 一成...408(5・6)
 集団の適応と進化.....長野 敬...473(5・6)
 Biological Rhythms in Neuroen-
 docrine Activity.....伊藤 真次...476(5・6)
 Gastrointestinal Ultrastructure
藤田 恒夫...497(5・6)

〔研究の思い出〕

- 一生理学者の思い出.....問田 直幹... 356(4)